

通 教 月 報

診 療 情 報 管 理 研 究

令和 6 (2024) 年 6 月号

編 集 武田 隆久
発 行 人 〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15
一般社団法人 日本病院会 事業部教育課
TEL 03-5215-6647 (受講生専用)
FAX 03-5215-6648 (受講生専用)
URL <https://jha-e.jp/>
受付時間 10:00~17:00
(ただし、土・日・祝祭日、年末年始は除く)
発 行 日 毎月 1 日

学会に足を運んで参加すること

吉住 秀之

独立行政法人国立病院機構都城医療センター 院長
診療情報管理士教育委員会 委員
基礎課程小委員会 委員長

第 50 回日本診療情報管理学会年次学術大会の開催が目前に近づいてきました。昨年 11 月号の月報では、大会のテーマ「医療ビッグデータ時代における適応と進化」にちなんで、これからの医療情報管理の進歩に対応していくことの重要性に触れました。8 月の学会でも生成 AI と診療記録の作成をテーマとしたシンポジウムと講演を同日にセットで企画しています。これからの業務に直接関係してくる話題だと思いますので、是非聴講をお願いします。

COVID-19 の影響で、遠隔での講義や診療、会議が一気に進み、移動時間を気にせずに参加できる仕組みが整えられました。これについては東京から 900km 弱離れている都城に生活している私としても大いに恩恵を受けました。しかしこれがいいこと尽くめかという強ちそうとも言えず、遠隔での参加では、その時参加している自分の「熱量」が低くなってしまいうことに気づきました。最初から出たくもない会議の場合はその熱量が低いのでそう影響はない（不適切発言すみません）のですが、自分が関心のある話題などについての講演などでは、演者との近さが感じられないことや、質疑応答の盛り上がり欠けるため、参加したときの収穫の実感に乏しいのです。加えて周囲の人とのコミュニケーションがないため、自分の理解度や実感をすぐに確認することもできません。これは喩えてみれば、ライブの演奏を聴く経験と、後日配信の映像をスマホで視聴する経験との差に近いものではないかと思います。

「足で稼ぐ」という言葉があります。会社の営業職の仕事の流儀として使われますが、現地を実際に訪れることでしか得られない利益もあるということを教える言い回しです。現地に行くということは、その分子測できないことが起こりうる場に自分を置くという行為なので、後からふり返るとその場に行かなかったら築けなかったであろう人とのつながりが生まれることがしばしば起こります。これは仕事のことや研究のことに限ったことではありませんから、この夏是非まわりの仲間にも声をかけて学会に参加してみてください。専門学校の子も多数参加されます。通信教育を受講している方にも思い出深い夏の日になりますよ。